

モルテン旗争奪大会の大会運営ガイドライン
《審判方法について》

- 記録員・点示・選手・ベンチスタッフはマスクを着用する。ただし、試合中コートに入る選手はマスクを外す。（線審はマスクを着用しなくても良い。ただし、所属チームから要請があった場合は着用しても良いが熱中症対策を怠らないこと）
- 試合前と試合終了後に主審・副審・記録員は手指の消毒を行う。
- 使用する備品（フラッグ、モップ、電子ホイッスル等）は試合前と試合後消毒を行う。
- 使用する笛については、チーム内で共有しないこと。
使用後はそのままの状態では放置せず水洗いまたは除菌シート等で洗浄・消毒を行い管理する事。また、電子ホイッスルの活用も可とする。
- プロトコールのコイントス参加者は、間隔をとり短時間で行う。
その際、審判員は、選手・監督との握手は行わない。（選手同士も握手は行わない）
- 記録員は2名とし、間隔を十分にとって着席し、主審から見て左側を記録員、右側を補助員とする。
- 監督・キャプテンは、記録用紙にサインをする際使用するボールペン（青色）は、自分で用意したものを使用する。（用意していない場合は、手袋の着用または消毒をする）
- 試合球は複数個用意し、こまめに交換しながら使用する。交換後のボールは、補助員によりタオル等で十分に乾拭きを行う。
- 試合開始前の選手同士の挨拶は行わない。公式練習終了後、主審・副審は定位置につき、スターティングメンバー（6名）は直ちにコートに入り、サーブ順の確認後試合開始となる。
- 試合中、ベンチには監督のみ着席し、その他のベンチスタッフは公式練習終了後に観覧席に移動する。また、控えの選手は、ベンチに一席間隔で着席し待機する。（椅子は13個設置。）※アップゾーンは設けない。
- テクニカルタイムアウト・タイムアウト・セット間においては、選手同士が密にならないよう間隔を空ける。監督が選手に話しかける場合は、1メートル程度間隔を空けるようにする。（テクニカルタイムアウト時の給水場所はエンドライン延長線上のベンチ付近で行う）
- 給水は、コート内にいる選手はもちろん控えの選手やラインジャッジ、点示の子供達も確実に行うようにすること。
- コート内の選手は、ハイタッチなどの接触する行為は行わない。
- 競技者交代時、コート内にいる選手は、入ってくる選手の周りに集まらない。
- 試合終了後の挨拶は、コート内の選手6名のみエンドラインに距離をとって整列し、主審の吹笛後、その場で一礼しベンチに戻る。その後速やかにベンチを空ける。